

【夜尿症とは？】

夜尿症とは**5-6歳**を過ぎてても月に数回以上おねしょをすることを言います。幼児期は排尿のメカニズムが未熟であるためおねしょをしても問題はありません。

【罹患率】

年長の時に約15%であり、小学校3年生で8%、小学校5-6年生で5%とされています。

【夜尿症があるとなにが悪いの？】

夜尿症があることで子供が強い**精神的ストレス**を感じることもあると言われています。

特に修学旅行などでお友達におねしょをしていることを知られたくないというお子さんが多いです。

【病院に行った方がいいの？】

お子さんが6歳を過ぎてても夜尿が持続しているようでしたら相談にいらしてみてください。下記のように様々な治療があります。

【夜尿症の治療について】

生活指導

治療の要です！
水分摂取・規則正しい生活など夜間に尿を作りすぎないような生活習慣をお話しします。

内服治療

尿を作るホルモンの産生を抑える内服薬や、膀胱の動きを抑制する内服薬などを処方します。

アラーム療法

夜に排尿があるとアラームを鳴らして知らせます。アラームで膀胱が収縮することが治療につながるとされています。

これらの治療を開始するにあたって、生活習慣やこれまで夜尿が改善したことがあったかなどの問診のほか、膀胱の大きさをみるために尿をためてもらった尿量を測定するほか、尿検査などを行います。それらの結果を合わせて、お子さんに合った治療法を相談していきましょう。